



AI・機械学習活用の専門人材育成プログラムを充実させ外部開放 ～「Data Science Hill Climb」の外部開放について～

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長、グループ CEO 小宮 暁、以下「当社」)は、東京海上グループのデジタルトランスフォーメーションを担うデータサイエンティストの育成を目的として2019年度に創設した「Data Science Hill Climb」(*)を2020年度から外部開放して、社外からも受講生を受入れます。また今年度からはリモートライブ形式での受講を可能に致しました。

本プログラムは、産学連携で創り上げたデータサイエンティスト適性人材の発掘・育成・評価のための体系的スキームであり、社外からも受講生を受け入れることで、日本全体のデータサイエンス人材の育成に貢献するとともに、異業種間交流の活発化により受講者のスキルアップを加速する効果を目指します。

(*)2020年2月15日ニュースリリース「AI・機械学習の活用に向けた専門人材育成プログラムを創設」

www.tokiomarinehd.com/release_topics/release/dhgn2a000000iuw7-att/190215_j.pdf

1. 背景

当社は「安心と安全」をひろげ、お客様と社会のあらゆる「いざ」を支える存在であり続けるために、最先端のデジタル技術の活用に取り組んでいます。デジタル技術の活用により従来の業務を効率化し、高度なスキルを有する人が、人にしかできない業務に集中的に対応する「人とデジタルの融合」を徹底的に追及していきたいと考えています。

この方針の下、AI・機械学習を活用したプロジェクトを多数進めており、その実現のために、IT人材の積極的な採用と並行して、社員をデータサイエンティストに育成するための実践的育成プログラム「Data Science Hill Climb」を2019年度に創設しました。

このプログラムには社外から受講要望が多く寄せられたことに加え、近年のデータサイエンティストは、数理的な能力のみならず様々なデータの背景にあるビジネスへの理解と洞察が求められていることから、異業種の受講生が相互に理解を深めながら学べる場となるよう、今年度より社外からも受講生を受け入れることといたしました。

2. プログラムの概要

本プログラムは、国内における人工知能研究の第一人者として広く知られている東京大学の松尾豊教授による監修の下に設計しています。2020年度は、2019年度に確立した基礎数学から実践的演習までの体系的なカリキュラムに加えて、今後データを扱う上で必須となる「情報倫理」を追加、プログラミング講座を強化するなど、更なるコンテンツ拡充を図り、延べ260時間を超える長期育成プログラムとしています。

プログラムの運営は、2019年度もご協力頂いたNABLAS株式会社、株式会社ALBERT、スキルアップAI株式会社の3社に加えて、新たに東京大学エクステンション株式会社、北海道大学大学院地球環境科学研究院 久保拓弥助教にもご協力頂き、産学連携で運営してまいります。

項目	講義時間	補足講座
導入教育(情報倫理等)	14 時間	-
基礎数学・応用数学	21 時間	20 時間
プログラミング(Python, SQL)	35 時間	-
機械学習・深層学習	72 時間	-
データサイエンス演習	119 時間	-
合計	261 時間	20 時間

3. プログラムの受講者

今年度から社内の数理人材に加えて、社会全体でのデータサイエンティストの輩出に寄与すべく、東京海上グループ以外の社会人も受講できる環境を整えました。また、プログラムは東京海上日動の総合職 SPEC グローバルコース(アクチュアリー・金融工学)の内定者も受講する予定です。

4. プログラムの効果

本プログラムの受講結果を測る指標として、当社はデータリテラシーレベルを「初級者」から「上級者」まで、独自に7段階で定義しています。2019年度の受講者の受講後のレベル評価では、想定を上回り、60%以上の受講者が上級者レベルである「自律的にデータ分析を実施できるデータサイエンティスト」に到達しました。これは長期のプログラムによる丁寧な基礎の積み上げと、実務さながらの演習の効果であり、携わった社外の評価者からも、トップクラスの成績を修めた受講者はデータサイエンティストの即戦力として活躍できるレベルであるとの評価を得ています。

5. 運用スケジュールと実施形態

本プログラムは、2020年5月から2021年2月までの、延べ8カ月の長期育成プログラムとなっており、業界の垣根を超えてデジタルトランスフォーメーションを担う人材の育成に取り組んでまいります。

また今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、全カリキュラムをリモートライブ形式で受講できるよう準備しております。

6. 今後の展開

将来の国内AI産業活性化のために、「Data Science Hill Climb」を広く社会に提供していく方法をさらに検討していきます。

また、現状の「既存業務へのデータ活用」という枠を超えて、データから新たなビジネスを生むような取り組みも産業や業種の枠を超えて検討していく予定です。

(ご参考)

■NABLAS 株式会社 (<https://nablas.com/>)

所在地:東京都文京区本郷7-3-1

代表者:代表取締役 中山浩太郎

事業内容:AI 人材育成事業、AI アルゴリズム開発コンサルティング

東京大学松尾研究室が開発した AI 教育コンテンツを大学から正式にライセンスを受けて提供する、唯一の事業者

■株式会社 ALBERT (<https://www.albert2005.co.jp/>)

所在地:東京都新宿区北新宿 2 丁目 21-1 新宿フロントタワー15F

代表者:代表取締役社長兼 CEO 松本 壮志

事業内容:データソリューション事業

ビッグデータ分析、分析コンサルティング、AI アルゴリズム開発とシステム導入、AI を用いた独自製品の提供、データサイエンティストの育成支援

■スキルアップ AI 株式会社 (<https://www.skillupai.com/>)

所在地:東京都千代田区神田三崎町3丁目3-20スカイワードビルディング 5F

代表者:代表取締役 田原 真一

事業内容:AI 人材育成のための教育事業、AI に関わるコンサルティング、システム開発や運用

■東京大学エクステンション株式会社(<https://www.utokyo-ext.co.jp/>)

所在地:東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 7F

代表者:代表取締役社長 山本 貴史

事業内容:AI 人材育成のための教育事業

■久保拓弥助教(<https://hosho.ees.hokudai.ac.jp/kubo/>)

所在地:北海道札幌市北区北 8 条西 5 丁目

所属:地球環境科学研究院 環境生物科学部門 陸域生態学分野

研究内容:情報通信、統計科学、ライフサイエンス、生態学、環境学

以上